

130214 ルリビタキ

岩湧山系の林道を歩いていると…

数羽の野鳥の群れに出会いました。

「群れ」と言っても、「付かず離れず」行動を共にしている、という訳ではなく、何となく同じようなところをそれぞれの個体が行ったり来たりしている、という感じなのですが…

飛び去る後ろ姿を見ていると、**尾羽**だけが**青色**っぽいのです。

これは「**ルリビタキ**」に違いありません！

しばらく待っていると、飛び去った方向とは違うところから戻ってきました。

どうやら餌場を巡回しているようにも見えます。

何枚か写真を撮りましたが、やはり「**ルリビタキ**」でした。

美しい青色の成熟した雄ではなく、**雌**か**若い雄**ですので、青いのは尾羽だけですが…

しばらく観察していると、この「群れ」の中には青色の「成熟雄」もいるようですが、人の気配に非常に敏感なのか、ついに写真を撮るチャンスには恵まれませんでした。

さて、この「**ルリビタキ**」、

四国や本州の亜高山帯、北海道の亜寒帯林などで繁殖するのですが、冬には人里に降りてくるのです。

夏の「**オオルリ**」、冬の「**ルリビタキ**」、そして年中見ることのできる「**カワセミ**」など、**青い**野鳥に出会うと、何故か得した気分になりますね！（今回は尾羽だけですが…）





